

議員全員協議会会議録

1 開会日	平成24年5月16日 午後 1時30分 開会 午後 3時50分 閉会
2 場 所	第1委員会室及び駅前洋館
3 出席議員	渡辺順子 奥津勝子 二宮加寿子 三澤龍夫 片野哲生 竹内恵美子 高橋富美子 鈴木京子 高橋英俊 吉川重雄 関 威國 坂田よう子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 二挺木政策総務部長 福島教育部長 岩本総務課長 加藤財政課長 曾根田財政係長 (駅前洋館) 荒巻都市計画課長 青木技幹 小瀬村副技幹兼都市計画係長 蓑島都市計画係主任主事
5 職務のため 出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 加藤 和男
6 協議等の事項	(1) 議会報告会の結果に基づく今後の対応等について (2) その他
7 その他	一般傍聴なし

(1) 町長あいさつ

5月1日の機構改革により、新体制がスタートした。風通しのよい横ぐしの効いた協力、連携を進めていきたい。

1点目、地球温暖化対策等のため、5月17日から10月31日までクールビズを実施する。2点目、5月20日に国府小学校体育館で第2回大磯防災ミーティングを開催する。3点目、5月27日に町ぐるみ美化キャンペーンを開催する。4点目、6月からプラスチックごみの分別収集説明会を各地区で行っていく。5点目、国府保育園運営について100万円の指定寄附があり、補正予算計上する。6点目、5月17日の中津川施政60周年記念式典に出席する。町側から報告事項が1件あるので、よろしく願います。

◎主な質疑

問. プラスチックごみの分別収集説明会のときに、厨芥類のことについては触れる予定はあるか。

答. 厨芥類施設は平成24年度に町の方向性を出すため、分別説明会時には話ができないと思う。

(2) 町報告事項

① 平成24年度大磯町一般会計補正予算（第2号）案の概要について  
（資料に基づく説明）

歳入については、1番目、小学校施設整備補助金11,422,000円は、国府小学校プール新築工事の国庫補助金である。2番目、児童福祉費寄附金1,000,000円は、匿名による保育園のための寄附金である。

歳出については、1番目、特別職給与6,297,000円は、副町長就任に伴う人件費であり、現在、最終調整中である。2番目、財政調整基金へ4,893,000円を積み立てる。3番目、駅前洋館活用事業者選定委員会委員報酬115,000円は、委員謝金から委員報酬への組み換えと税理士謝金である。4番目、園具備品購入費1,050,000円は寄附に伴う国府保育園の楽器類等購入である。

◎主な質疑

問. 園具備品購入費の楽器類等購入は、園側の要望があったのか。

答. 園側の要望により予算計上した。

（意見）寄附者の意思が記念として残る形にしてほしい。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について（別紙）

#### (4) 主な報告事項

##### ① 委員長等からの報告

###### ○ 5月16日の議会運営委員会の概要報告

1点目、町側提出予定議案12件(資料配布)で6月1日初日に審議する。2点目、繰越計算書4件は原則質疑を行わないが、特別に議長了承により質疑を認める。3点目、機構改革に伴う本会議出席者は、審議進行を妨げない範囲で入れ替え方式とする。4点目、議会運営委員会視察研修を6月28日、29日に行う。長野県松本市の政策討論会、飯綱町の政策サポーター制度等である。5点目、昨日までの陳情書等の提出はない。6点目、議会報告会の反省総括の進め方はこの後協議する。7点目、委員会協議会で報告すべき事項(提出議案等の説明)の精査について今後検討する。8点目、陳情書等の取扱い等も含めた基準等策定の検討を進める。 高橋(英)委員長

###### ○ 4月26日の福祉文教常任委員会の視察概要報告

まなづる小学校に導入された放射能測定器を視察した。昨年、約140万円で購入し、9月から検査を実施している。測定基準値は国の100ベクレル以下に対し、真鶴町は40ベクレル以下としている。食材検査は、調理開始前の8時30分～10時までである。本町の地場産野菜6種類を持参して測定したが問題はなかった。 竹内委員長

###### ○ 監査委員からの報告

5月2日に例月出納検査を実施した。予備費執行前には監査委員への報告を指導した。5月10日に農業委員会定期監査を実施した。都市近郊農業の厳しさを実感した。現在、提出された住民監査請求の手続きを進めており、18日までに回答を出す。 三澤委員

###### ○ 農業委員からの報告

4月26日に農業委員会総会が行われた。議案は3件、農地法第3条の規定による許可申請、農林省に対する農林業関係5項目についての平成25年度建議事項(継続)、相続税の納税猶予に関する適格者証明願いである。その他、農地法の規定による報告が3件である。 片野農業委員

##### ② 5月15日の県町村議会新議員研修会

神奈川自治会館で、講師を町村議会議長会職員の秋本氏に開催。受講者は寒川町、大磯町、湯河原町、愛川町から11名が参加した。研修内容は、地方議会運営の基本として、地方自治制度における議会の使命、議会の権限、議会の原則等であった。 関議員

#### (5) 協議事項

##### ① 議会報告会の結果に基づく今後の対応等について

議会報告会の結果は、議会日より、ホームページに掲載するため、記録者の要点記録に基づき反省総括を行い、町民の意見提言をまとめていきたい。本日は、反省総括としての意見と町民の意見提言をいつまでに、どのようにまとめるのか意見を伺いたい。なお、事務局でアンケート集計結果を作成しているので、報告会検証の参考資料としてほしい。

(意見1)

議案の報告は3会場統一されていたが、予算の報告が統一されていなかったように思う。報告者のしっかりとした横の連携が必要である。

(意見2)

議会だよりに掲載するため、まず、記録係が概要記録をどのように、いつまでに作成するのか決めたほうがよい。7月27日が発行日であるため、6月15日までには原稿をまとめる必要がある。(記録係は5月28日までに要点記録をまとめることとなった。)

(意見3)

3会場で開催した中で参加者が少なかった。(区長参加も少なかった。)多くの町民に参加していただくため、関心を持っていただく方法、PRの仕方等を考える必要がある。

(意見4)

今回、各地域に回覧を回さなかったことが、参加者が少なかったことにつながると思う。回覧を実施することも参加者を増やす1つの手段である。

(意見5)

アンケートの開催時間帯を参考として、曜日と開催時間帯を併せて考えたほうがよい。

(意見6)

主婦層を対象とした時間帯は再検討の必要がある。また、1日に2会場での開催は、非常に厳しいと感じた。

(意見7)

開催曜日については、次の開催を1週間あけてはどうか。1週間あけることで報道関係へ情報提供をすることもでき、町民の反応があるのではないかと。開催時間については、午後6時30分というのは参加しづらい時間帯であり、再検討すべきであると思う。開催場所については、保健センターと国府支所(今年は月京会館)は固定開催場所とし、もう1カ所は試行的に変更してはどうか。また、会場は椅子会場とし、メモを取り易いようにテーブルを用意したほうがよい。

(意見8)

アンケートでは、若いお母さんは平日の午前中という意見があり、主婦は平日の午前、午後が参加しやすいのではないかと。幼稚園のお母さんなどター

ゲットを絞り、近くの施設で開催するという方法もある。

(意見 9)

議会基本条例の進行管理により 3 回開催することは決めてあるが、3 日に分けて開催したほうがよいと思う。また、アンケートを見ると、前回の議員報酬の話など、前向きに捉えてくださる町民が増えてきていると実感した。

(意見 10)

アンケートに、自治基本条例についての議員意見を聞きたいという意見があった。議会として自治基本条例を効果的に運用するために、自治基本条例について再度、確認したほうがよいと思う。

(意見 11)

本町議会では議会だよりを資料として使っているが、四日市市では議会報告会用の資料を別に作成している。議案説明、予算事業説明など個別に作成していたので、検討してはどうか。

(意見 12)

議会報告会に参加した町民から、入手できてよかったと提供いただける資料作成を考えたほうがよい。また、町の予算書、決算書を町民に対して回覧してはどうか。

(意見 13)

町民に参加いただき、資料を見てもらうことは大事である。議会として資料を作成する努力は必要である。

(意見 14)

他実施自治体議会の議会報告会資料を参考として、検討していくことも必要である。

(意見 15)

報告事項の質疑応答が記載された会議録があれば説明しやすい。ただし、会議録を読み上げるだけではなく、説明に工夫が必要である。

(意見 16)

報告事項は、議会としての議論の経過と結論を淡々と説明すべきである。執行者側に立った発言をしてはいけないと思う。そのため、会議録内容を把握しておく必要がある。

(意見 17)

事業についての説明があれば分かりやすい。事業説明を行ってから、問い合わせを説明するという順序のほうがよい。

(意見 18)

議会報告会における申し合わせで、議員個人の意見は控えることとしたが、質疑の流れの中で「私は」という発言が数回あった。その辺はきちっと統一しておいたほうがよい。

(意見 19)

議会報告会は議論のあったことを報告するものであり、議会での経過を説明することで十分伝えきれると思う。

(意見 20)

議会報告会は積み重ねであると思う。報告会の回を重ねることで議会が一つにまとまるのが大事である。

(意見 21)

町民が関心を持っていることなどは、事前に調べておく等の心構えを持つことも必要であると思う。

## ② その他

次に一般会議をどのように実施するか意見を伺いたい。

(意見 1)

一般会議を実施していく団体等については、まだ漠然としている状況にあるが、一般会議を実施することで議会報告会の参加者が増えるのではないかと思う。各常任委員会の対応として、本年度は3団体ぐらいとしてはどうか。また、相手方との調整を進める必要があると思う。

(意見 2)

ごみの問題などは主婦に関心がある。その辺の一般会議の開催は必要であると思う。そういう面で、ごみ処理広域化の特別委員会が必要であるという気がしている。

以上の意見を踏まえ、ごみ処理広域化の特別委員会設置について意見が出され、総務建設常任委員会で審査するのか、特別委員会を設置して審査するのかを6月議会定例会会期中に全議員で協議し、決定することとした。

議会報告会の反省総括の意見のまとめについては、5月28日の議会運営委員会終了後に臨時全協を開催して協議を行うこととした。

## (6) 事務局からの報告

- ① 6月議会一般質問通告書の提出について（5月24日（木）、25日（金）午前9時～午後5時）
- ② 議案資料の配付について（5月25日（金）午前中）
- ③ 議員健康診断について（6月20日（午後2時～）、29日（午後1時45分～）
- ④ 子ども議会の開催について（8月23日（木）午後1時～4時 議場使用）

## (7) その他

大磯駅前洋館耐震補強・改修工事終了に伴う内覧会について

議員全員協議会を休憩し、現地に移動した後に再開し、都市計画課事務担当者から資料に基づき工事内容等の説明を受け、洋館内を見学後、議員全員協議会を終了した。

- ・ 次回の議員全員協議会は、臨時開催で6月15日(金)午後1時30分からの予定

(8) 閉 会